

令和2年11月16日

三木市議会
議長 中尾 司 郎 様

民生産業常任委員会
委員長 初 田 稔

行政視察報告書

下記のとおり委員会行政視察を実施いたしましたので、会議規則第107条の規定により報告します。

記

1. 参加者

初田稔（委員長）、古田寛明（副委員長）、板東聖悟、新井謙次、
岸本和也、泉雄太、松原久美子

（委員外議員）大西秀樹、堀元子、中尾司郎、藤本幸作、草間透、
内藤博史

計13名

2. 視察内容等

日 時		場 所	内容及び対応者
10月28日	10:00 ～ 11:30	三木商工会議所	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者の現状等について (対応者) 三木商工会議所 会 頭 稲田 三郎 " 専務理事 喜多 司 " 事務局長 神澤 康 " 相談所長 齊藤 幹雄
	13:00 ～ 14:30	山田錦の館	山田錦の郷周辺の活性化について (対応者) 吉川町商工会 会 長 富田 孝昭 " 副 会 長 三村 広昭 " 副 会 長 福田 誠 " 事務局長 田中 正司 よかわ活性化協議会 伊藤 武明 吉川町まちづくり協議会 会 長 山本貴美江
	14:40 ～ 15:10	吉川町奥谷	農業施設災害の復旧状況について (対応者) 産業振興部 農業振興課長 木下 穂玄 吉川支所 地域振興課長 辻田 文英 " 地域振興課地域振興係長 藤田健太郎

10月28日	15:20 ～ 15:50	吉川浄化センター	汚泥脱水機について (対応者) 上下水道部長 上下水道部下水道課長	上田 敏勝 米村 誠
--------	---------------------	----------	--	---------------

3. 所感

(1) 市内事業者の現状等について（三木商工会議所）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で苦境に陥った事業経営者に対し、国、県、市が多彩な救済策を提案されている。三木市も事業者の実態を十分に把握されている三木商工会議所との連携をさらに深め、施策を立案して頂きたい。

- ・コロナ禍の市内経済への影響を知ることが出来た。地場産業の金物産業はDIYなど巣籠り需要にマッチしたため、大きな悪影響は無かった一方で、外出自粛等の影響で飲食をはじめとしたサービス業には悪影響が出ていることがアンケート結果から確認できた。

- ・今のところ新型コロナウイルス感染症の影響による廃業は少ないということに少し安心した。

- ・金物製造業より、飲食業への打撃が大きく、事業を継続していくための効果的な支援が望まれる。

(2) 山田錦の郷周辺の活性化について（吉川町商工会）

- ・ゴルフ場への客をはじめ交流人口の増加を目指すとともに、利便性、魅力ある吉川づくりを目指し、「よかわ活性化構想」をまとめようとされている。

- ・「よかわ活性化構想」について説明を聞き、吉川町の皆さんの思いを感じることで、具体的なイメージを共有することが出来たと共に、更なる具体性や予算規模などの課題もわかる素晴らしい機会と感じた。

- ・山田錦の郷を核とした活性化やその為に老朽化した体育館を撤去する必要性は理解できた。一方で財政が厳しい中、行政が費用を使って整備することに任せるだけではなく、住民が参加する中で、費用をかけずに地域を盛り上げる仕組み作りが必要ではないかと感じた。

- ・黒滝などの新しい観光地点や遊歩道の整備と体育館の跡地利用も含めて総合的な構想が立てられており、地域住民への理解も進められているように感じられた。

(3) 農業施設災害の復旧状況について

- ・復旧箇所を確認して、復旧方法について、理解した。

- ・「ふとんかご」による土羽復旧工事など、専門的な地すべり対策の工法を知ることができた。

(4) 汚泥脱水機について

- ・汚泥脱水機の瑕疵について、資料を基に説明を受け、現場の機器等を確認した。

- ・係争中の案件について実際に現場を見る機会となったが、機械が求められている性能を発揮していないことにより、悪臭が強く職場環境にも影響していることを肌で感じることができ、今回の問題の大きさを感じることができた。

- ・汚泥脱水機の異常を悪臭と共に実感した。

- ・現場の声を直接聞く重要性を改めて認識した。